



# [財]日本太鼓連盟

## NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2011年1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:[info@nippon-taiko.or.jp](mailto:info@nippon-taiko.or.jp)

会報

## 2011 年頭のごあいさつ



財団法人日本太鼓連盟  
会長 松本 英昭

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、穏やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、全国で記録的な猛暑となり各方面に大きな影響のあった年でした。

また長引く景気の低迷から脱却できず雇用問題を始め、国際関係等の問題もあり、明るい話題の少ない年でもありました。

そのような社会状況の中、太鼓連盟としては会員の皆様のご協力を得て所定の事業を計画通り実施することができました。

3月には、埼玉県さいたま市において第11回ジュニアコンクールを開催、優勝には宮崎県の「橘太鼓『響座』ジュニア」が輝き、初めて同一チームが2回目の優勝を飾ることになりました。

6月には、国際交流事業を行っている「ピナツボ復興むさしのネット」の共催を得て第14回チャリティコンサートを東京都港区において開催、来場者から頂戴した募金を全額同会にお渡ししました。また7月には、宮城県仙台市において全国フェスティバルを開催し、全国から参加した優秀チームの高い演奏技術に会場につめかけた観客から大きな拍手が寄せられました。10月の千葉県成田市での全国障害者大会には、過去最多の29チームが参加、日頃の練習の成果を発揮していただきました。同大会には、アメリカから「トライアングル・スペシャル太鼓」が初参加し大会を盛り上げてくれました。7回目となるシニアコンクールも11月に石川県小松市にて開催、永年培ってきたシニアならではの円熟味のある演奏を披露いたしました。

また財団の事業の柱である演奏技術の向上と後継者の育成を図るための講習会も全国講習会を3回、支部講習会を3回開催いたしました。参加した老若男女の受講者は、学科に実技にと熱心に受講していました。

ここ数年、重点事業として取り組んでいる学校教職員の講習会は、全国で10回開催されました。学校の先生がこうして太鼓の講習会に参加されることは、少子化社会の中で後継者として子供達の太鼓活動への新規参入を促す大きなきっかけになるものと期待しております。

国際交流事業としては、前述の障害者大会への参加に加えて、ジュニアコンクールにブラジルから「パラナビ寿太鼓」を招聘した外、9月に南アフリカ、ボツワナ、ポルトガルへ「橘太鼓『響座』」を派遣しました。11月に行われた台湾ジュニアコンクールに審査員を派遣、同大会の優勝チームは本年3月に名古屋市で開催する第13回ジュニアコンクールに参加することになっております。

このように日本太鼓が内外において益々普及する中、新しく迎えた2011年においても全国フェスティバルを始めとする演奏会事業や全国講習会等の技術普及事業については、当該支部のご協力を得ながら内容を充実してすすめてまいりたいと思っております。

昨今、日本の太鼓界を取り巻く社会環境は、景気の低迷に伴うイベントの廃止による出演機会の減少、地方自治体からの助成金の減少、少子化による後継者不足等大変厳しいものがあります。日本太鼓連盟としてこの厳しい社会情勢の中で設立目的である日本太鼓の普及・振興を今後とも図っていくため支部・会員の皆様との協調、連携をとりながら事業運営に当たりたいと考えております。

最後に2011年が日本太鼓界と会員の皆様にとって良い年になるようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 第12回日本太鼓全国障害者大会

## ～千葉県成田市で開催～



(初出場「明和特別支援学校龍剣太鼓・石川」)

10月17日(日)、第12回日本太鼓全国障害者大会を、千葉県成田市の「フィットネスハウス・アリーナ(成田市体育館)」にて開催いたしました。

この大会は日本財団の助成事業として行われ、(財)日本太鼓連盟主催、社会福祉法人富岳会共催、(財)日本太鼓連盟千葉県支部主管のもと、厚生労働省、文化庁、千葉県、地元成田市等の後援を賜り実施いたしました。

日本太鼓は、障害者の療育に効用があると言われており、社会福祉法人富岳会(山内令子理事長)は、30年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として取り入れてられました。1998年に富岳会主催により「第1回全国障害者太鼓演奏会」として静岡県御殿場市で開催され、その後「より多くの団体にも出演の機会を」との声を受け、1999年より当財団との共催で、全国大会として実施しております。

第12回目を迎える今回は、初のアメリカからの参加となる「トライアングル・スペシャル太鼓」も含め日本太鼓に積極的に取り組んでいる過去最多の29チーム(出演者477名)が16都道府県より一堂に会し、日頃の練習の成果を力いっぱい披露しました。

今回は、「明和特別支援学校龍剣太鼓」(石川)、「遠州袋井太鼓保存会スマイルズ」(静岡)、「川岸小学校支援太鼓ドラゴン・キッズ」(長野)、「縄楽座」(千葉)、「和太鼓流星群 with X」(東京)の5チームに初めて参加いただきました。また、「富岳太鼓竜神組」(静岡)、「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」(静岡)、「恵那のまつり太鼓」(岐阜)の3チームは初開催以来、12回連続で出場をされています。

各団体の演奏の合間には、障害者の皆さんが太鼓との関わりについて体験発表をし、自身の成長や、チーム内の変化などを一生懸命に語ってくれました。いずれのチームも日頃の練習の成果を存分に発揮し、演奏レベルも非常に高く、全員が何より心から太鼓を楽しんでいる様子が印象的でした。1,000名におよぶ観客は、ひたむきな演奏と体験発表に惜しみない拍手を送っていました。

また、会場ロビーには、富岳会の皆さんが描いた素晴らしい絵画が展示され、来場者は熱心に見入っていました。

### ＜出演団体一覧＞

(出演順29団体) ☆は初出場

- 1 静岡 富岳太鼓竜神組
- ☆2 米国 トライアングル・スペシャル太鼓
- 3 静岡 静岡県立静岡北特別支援学校北龍太鼓
- 4 長野 すみれ太鼓
- 5 石川 石川県立ろう学校風神太鼓
- 6 長野 諏訪養どんどん太鼓
- 7 山口(社福)同朋福祉会あそかの園同朋太鼓
- 8 北海道 のぞみ太鼓
- ☆9 石川 石川県立明和特別支援学校龍剣太鼓
- 10 新潟 新潟ろうあ万代太鼓 豊龍会
- 11 石川(社福)南陽園ふれあい和太鼓
- 12 富山 鼓友 夢光組
- 13 静岡 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム
- 14 静岡 伊豆医療福祉センター どんつく
- 15 山梨 甲州ろうあ太鼓
- 16 福島 一太鼓
- 17 岐阜 ファミリーユニット童鼓
- 18 大阪 豊里学園 和太鼓 鼓粹
- 19 福島 やまびこ太鼓
- 20 静岡 静岡ハンディキャップ太鼓の会
- 21 愛媛 四国中央警座太鼓ろうあ部会 鼓龍会
- ☆22 静岡 遠州袋井太鼓保存会スマイルズ
- 23 大分 大分県糸口学園糸口太鼓
- ☆24 長野 川岸小学校支援太鼓ドラゴン・キッズ
- 25 東京 東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」
- ☆26 千葉 縄楽座
- 27 茨城 しらとり太鼓
- ☆28 東京 和太鼓流星群 with X
- 29 岐阜 恵那のまつり太鼓



(初出場「遠州袋井太鼓保存会スマイルズ・静岡」)



(初出場「川岸小学校支援太鼓ドラゴン・キッズ・長野」)



(初出場「縄楽座・千葉」)



(初出場「和太鼓流星群with X・東京」)

\*アメリカから初参加の「トライアングル・スペシャル太鼓」に感想をご寄稿頂きました。

「アメリカから日本太鼓全国障害者大会に参加して」

トライアングル・スペシャル太鼓代表 岩島 嗣吉

10月19日米国ノースカロライナ州のラーレイ空港ではデレック、デニー、DJ、ケイラブ、タキ、アマンドのダウン症、自閉症、筋萎縮症などの障害をそれぞれ持った6人の太鼓プレイヤーが、1週間ぶりに家族の出迎えを受けていました。メンバーひとりひとりの顔には、生まれてはじめての海外遠征をこなした自信と満足感があふれていました。堰を切ったように日本での楽しかった思い出を家族に話しかけている様子を見て、「ああ…この子供たちにとって本当に貴重な経験を提供できた！」と心の底から嬉しい気持ちになりました。

「トライアングル・スペシャル太鼓」のメンバー6人とそのサポートメンバー5人の11人は、10月17日に成田市で開催された第12回日本太鼓全国障害者大会～心に響け「ドンドン」フェスティバル～に初めての海外グループとして日本太鼓連盟から招聘されました。そして13日から1週間ほど日本に滞在し、立派にそこでの公演を果たしてきました。

公演までの日程は、以前当地ラーレイ市を訪問し障害者太鼓の指導をしてくれた「富岳太鼓」の本部、御殿場に滞在しました。雄大な富士山を目の前に、「富岳太鼓」メンバーとの共同練習や交流演奏会に汗をながし、また社会福祉法人「富岳会」の施設などを訪問してお年寄りたちと言葉を交わしたり、小さな園児たちのエイサー太鼓演奏でのお迎えなどを楽しむことができました。メンバー全員の最高のお気に入り温泉の大露天風呂、声をかけあって滞在中毎朝毎晩欠かさずにはいりました。明らかに日本人ではない連中がそろって頭に手拭をのせてつかっている様はほほえましい限りでした。お刺身やラー



(障害者大会での演奏)



(富岳太鼓竜神組の皆さんと一緒に記念撮影)

メンなどの日本のグルメ(?)にも旺盛な挑戦してくれました。誰でも初めて経験する異国の習慣や食事など躊躇するのが当たり前ですが、全員が興味しんしんで、ケイラブやデニーがお箸の使い方などに戸惑った時すぐ誰かが教えてあげるなど、場合によってはメンバー相互に助け合いながら、日本文化を満喫したようです。

大会の前日に御殿場を発ち、成田に入り、大会に臨みました。日本全国から馳せ参じた28もの障害者太鼓グループの中、全員アメリカ代表の意気込みを見せるべく星条旗のデザインをつけた半天を揃えました。演奏の前にグループ紹介の大役を果たしたデレックは、自分で作ったスピーチを「皆さんこんにちは。私の名前はデレックです」と日本語で始めましたが、この文章や発音など自分でインターネットの中から探し出したのですから驚きです。出番を待機している時も、たまたま隣だった福島県からの「やまびこ太鼓」の障害者たちとすぐ「ハロー」と交流が始まります。舞台の大太鼓を見ていたDJは「いつからあんな大太鼓が叩けるようになるのか」と質問攻め。一同「やはり日本の太鼓は違う」とたっぷり刺激を受けていました。

我々太鼓グループが障害者太鼓を始めたのは、「療育」といったおおげさな目標があったわけではなく、ただ太鼓を一緒に叩くことから生まれる一体感をお互いに楽しもうという気持ちからでした。

今回の訪日ツアーでは、メンバー全員が全く新しい異質な体験を共有することで、お互いが助け合って一体感を育むことができました。また言葉や文化が違っ

でもその人々と「絆」が作れるということも体験できました。日本国内での滞在費を出していただいた日本太鼓連盟、そして太鼓連盟の伊藤雅俊評議員のご紹介で旅費の援助をして頂きました米国伊藤財団の皆様にご心から感謝いたします。

#### 次回障害者大会は兵庫県開催予定

第13回大会は2011年10月16日(日)兵庫県三田市の「三田市総合文化センター」にて開催を予定しております。詳細は、事務局までお問い合わせ下さい。

## 第7回日本太鼓シニアコンクール全国大会開催 ～文部科学大臣賞を目指して、全国より24組87名が参加～

11月21日(日)、石川県小松市「こまつ芸術劇場うらら」において「第7回日本太鼓シニアコンクール」を開催致しました。この大会は、60歳以上のシニア層を対象として近年に多い激しく速い太鼓とは違う味わい深い演奏を披露するとともに、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指して実施しているものです。第3回目より文部科学大臣賞を下付されております。

7回目を迎えた今回は、10都道府県より24組87名が参加し、栄えある名人位・文部科学大臣賞を手にしたのは河合睦夫氏(「越中いさみ太鼓保存会」・富山)でした。円熟味を増した伝統的な三つ打ちが観客を魅了する好演でした。なお、同日ジュニアコンクールの石川県大会も開催され、参加した子供たちも大会を見学しました。

〈結果〉

(敬称略)

\*名人位を獲得した河合睦夫氏より喜びをご寄稿いただきました。

#### 名人位

河合 睦夫(越中いさみ太鼓保存会・富山)

#### 準名人

岩城 正治(加賀太鼓保存会・石川)

野本 敏章(正八幡宮飛龍八幡太鼓奉友会・福岡)

松本 敏春(加賀の太鼓「無限」・石川)

#### 特別賞

林 敏三(福光もちつき太鼓保存会・富山)

助六太鼓保存会「酔打楽」(東京)

東出 南弥子(共栄太鼓風雅・石川)

藏樂太鼓(東京)

源通 博(水舞流越中八幡太鼓保存会・富山)

藤岡 森雄(埼玉)

吉原 奏(翔・石川)

秦野観光と太鼓(神奈川)

シニアうねめ太鼓クラブ紅寿組(福島)

#### 越中いさみ太鼓保存会

河合 睦夫

11月21日(日)石川県小松市で行われました、第7回日本太鼓シニアコンクールに出場して、念願でありました名人位を頂く事ができました。過去に4回準名人を頂いておりましたが、どうしても名人位を頂きたくて再度、挑戦いたしました。

発表の瞬間、身体の震えが止まらず、一時放心状態になる程、感激いたしました。

これも一重に関係各位、太鼓を通して知り合った全国の親友、また地方をやってくださいましたチームメイトのお蔭だと深く感謝致しております。

太鼓打ちは伝統を守りつつも自分の型を作る、そして何よりも熱意をもって協力するものだと思っております。

ジュニアコンクールに出場していた子供達が、私の太鼓を打つ姿を見て沢山の大きな拍手をしてもらって本当に恥ずかしい気持ちで一杯でした。それでも、その内には何か感じるものがあれば1つの打法として今後の練習に活かして欲しいと思います。

今後は初心を忘れず、身体の続く限り太鼓道に進んでいきたいと思っております。

最後に、この様な機会を与えてくださいました(財)日本太鼓連盟、社団法人石川県太鼓連盟、北國新聞社の皆様にご深く感謝申し上げます。

#### 審査委員

(五十音順・敬称略)

浅野 義幸(榊浅野太鼓楽器店17代当主)

池崎 一人(石川県文化振興課課長)

江頭 啓輔(三菱ふそうトラック・バス榊相談役)

粕谷 祐己(金沢大学教授)

塩見 和子(審査委員長・財団理事長)

長谷川 義(全九州太鼓連合会長)



(名人位・河合睦夫氏)

#### 次回シニアコンクールは石川県輪島市開催予定

第8回大会は2011年11月20日(日)輪島市文化会館にて開催を予定しております。詳細は、事務局までお問い合わせ下さい。

\* 2010年9月に実施した南アフリカ・ボツワナ・ボルトガル日本太鼓公演について、南アフリカ大使館とボルトガル大使館よりご寄稿いただきました。

## 日本・南アフリカ交流100周年記念公演

在南アフリカ日本国大使館 広報文化担当 外川裕之

はじめに、「南アフリカ国立劇場主催第3回キャピタル・アーツ・フェスティバルにおける和太鼓及び阿波踊り公演」の実施にあたり、ご尽力いただきました財団法人日本太鼓連盟の皆様、ご出演くださいました橘太鼓響座の皆様にご心から御礼申し上げます。

今から100年前の1910年、日本政府は南アフリカにおいて日本の地位を確保し、対南ア貿易の促進を図るべく、ケープタウン在住のジュリアス・オットー・ジェッペ氏を日本国名誉領事に任命しました。2010年は日本と南アが公的交流を開始して100年目となる記念すべき年であり、交流100周年を記念し、大使館では様々な団体のご協力を頂きながら文化事業を実施しておりますが、そのハイライトとなる事業が昨年9月3日及び4日に国立劇場で行われた日本太鼓連盟、響座及び高円寺菊水連による和太鼓・阿波踊り公演でした。

公演の前半が阿波踊り、後半が和太鼓という構成で、2日間の公演にはロイヤル・バフォケン王国(南アフリカのプラチナ王)皇太子殿下夫妻、各国大使、政・官・財界及び学術・芸術分野で活躍する方々をはじめ、室内・屋外公演をあわせ千名以上の方々にご来場いただきました。中には、日本でいえば沖縄から北海道ほど離れているケープタウンからこの公演のために足を運んでくださった観客もおりました。

南アフリカの国民が日本文化に接する機会は限られておりますが、和太鼓など日本の文化に関心を有する者は非常に多く、今回の公演では和太鼓の魅力・迫力を伝え、「和太鼓公演を是非南アフリカで実施して欲しい」という現地の方々の強い要望に応えることができたとともに、ステージ上での塩見日本太鼓連盟理事長のウイットに富んだ解説により、和太鼓・日本文化に対する南ア国民の漠然とした「関心」を「正しい認識・知識」へとつなげることが出来たと考えて



(菊水連の皆さんと一緒に記念撮影)

おります。

公演後には多くの現地の方々から「これまでに南アフリカで見た全ての公演の中で最も素晴らしかった」、「日本から公演団及び太鼓を南アフリカへ呼び寄せるためには膨大な費用がかかると理解するが、将来も是非このような公演を実施して欲しい」、「和太鼓の迫力は衝撃的であった。和太鼓は映像で見ることがあるが生の公演は全く別もの」、「ステージ上での説明により和太鼓について「見る」だけでなく「学ぶ」ことができた」。「日本と南アフリカの交流100周年記念に相応しい文化事業」などの賛辞が寄せられました。嬉しいことに、公演が終了して暫くたった今でも、和太鼓等に関する問い合わせが大使館広報文化センターに寄せられており、対日関心層の開拓という点でも本公演は非常に効果大きいと考えております。

遠く離れた南アフリカと日本ですが、大使館としてはその距離を「文化の力」で少しでも近づけることができるよう今後も文化事業に取り組んでいきたいと考えております。今回、御支援くださいました日本太鼓連盟及び響座の皆様に対し、南アフリカの国民に代わり、心より御礼申し上げます。本当に有り難うございました。

## 太陽のスポットライト

～日本・ボルトガル修好150周年「出会い」「友情」「未来」～

在ボルトガル日本国大使館 宮川雄一

最終日、万博公園野外特設会場にて、ボルトガルの暑い太陽のスポットライトを浴びながら、岩切代表を始めとする橘太鼓響座のメンバーは、大観衆の前で熱い演奏を行いました…。

在ボルトガル日本大使館と(財)日本太鼓連盟及び橘太鼓響座との出会いは2007年後半に始まりまし

た。2007年に日本大使館からの切なる依頼を受けて、2008年1月、日本太鼓連盟より響座がボルトガルに派遣されました。響座は、グルベンキアン財団講堂、世界遺産であるシントラ市王宮前広場野外会場等で公演を開催し、その優れた技量、観客を魅了する高いパフォーマンスなどにより、全ての公演で大成功

を収めることができました。

2010年は日本・ポルトガル修好150周年です。在ポルトガル日本大使館は三輪大使を中心に様々な記念事業を企画しました。昨年、日本大使館は、日本伝統文化の中でも特に人気の高い和太鼓公演を150周年記念事業として是非実現させたいとの強い思いから、ご縁のある(財)日本太鼓連盟に連絡させていただきました。前回の派遣からまだあまり年数を経っていないにも拘わらず、同連盟の塩見理事長は、日ポ修好150周年の重要性に深い理解を示していただき、響座のポルトガル再訪が決定しました。

今回は、唯一の室内公演でよりフォーマルな雰囲気で開催したオリエント博物館講堂、緑豊かな野外庭園で爽やかに演奏を行ったグルベンキアン財団野外劇場、海をバックに豪快に演奏を行ったオエイラス市サントアマロ海岸野外特設会場、そして、様々な日本文化紹介事業も併せて実施し最大規模となった万博公園野外特設会場で公演を開催しました。全ての公演において多数の観客を動員し、参加者の熱狂度も非常に高く大変盛り上がりました。さらに、塩見理事長自らが舞台上がられ、その卓越した英語力を駆使されて、ユーモアを交えながら和太鼓について分かり易く説明されたことが非常に好評で、これにより各公演がより一層充実したものとなりま

した。

在ポルトガル日本大使館が作成した日本ポルトガル修好150周年記念ポスターのキーワードは「1543 出 会 い Encontro、1860 友 情 Amizade、2010 未 来 Futuro」です。これは、1543年に両国は出会い、1860年に外交関係を樹立しお互い友情を確認し合い、そして2010年は両国が新たな時代に向かって進んでいく未来志向の関係を表しています。

2007年に日本大使館が日本太鼓連盟に和太鼓グループの派遣をお願いしてから、2008年に公演が実現するまでの間は、まさに日本大使館と(財)日本太鼓連盟・橘太鼓響座にとって「出会い」、お互いの信頼関係を育んだ「友情」の期間でした。

2010年、日ポ修好150周年という記念すべき年に和太鼓公演が実現したことにより、日本ポルトガル間の理解がさらに深まり、そして、両国関係の新たな「未来」が始まったと確信いたします。

最後に、最終日の万博公園野外特設会場のみ日差し避けがついておらず、響座の皆様にとりましては、直射日光を浴びながらの体力的に大変厳しい公演となってしまいました。その様な中、いつもと同じように、渾身の演奏を行っていただいた響座の皆様、本当に有り難うございました！

### 第1回台湾太鼓ジュニアコンクール&第3回台湾太鼓フェスティバル開催

2010年11月6日に台湾で初となるジュニアコンクールが、7日に第3回台湾太鼓フェスティバルが、台北縣三重市総合体育館演芸庁にて行われ、審査委員として当財団より塩見理事長、長谷川副会長が出席しました。観客は2日あわせて1,600名を越え盛況の内に無事終了しました。この公演を通じて、日本太鼓が台湾の国民に周知されるとともに、わが国を代表する伝統音楽の1つとして国際親善、文化交流の一翼を担うことができました。なお、今回のジュニアコンクールの優勝チーム「泰山太鼓団」(台北縣)は本年3月に愛知県名古屋市中区で開催する「第13回日本太鼓ジュニアコンクール」に特別出演チームとして参加いたします。



(ジュニア優勝チーム「泰山太鼓団」)

### 手取亢龍太鼓保存会結成20周年記念式典

手取亢龍太鼓保存会(石川)が記念式典を開催  
当財団より中西常務理事が出席

手取亢龍太鼓保存会 理事長 田中 秀夫

古来より地元で伝わる「虫送り太鼓」を基本として創作。平成2年3月に保存会として正式に発足して早いもので20年の節目を迎えました。

結成された経緯はわが町川北町商工会の「村づくり事業」の一環として作られた団体であり、結成に向け当時の役員は相当苦勞をされ東奔西走していたようです。打ち手の練習も始まりましたが、音符も読めない全員の素人集団でしたので、指導いただいた「みやらび太鼓」の川田公子先生も四苦八苦でした。その当時を知るメンバーも数人となり、全国講習会での講師を務める安江信寿もその中の1人です。

ようやく20年が経ち、この間地元はもちろんですが、中国・ハワイ・フィリピンなどをはじめ、(財)日本太鼓連盟主催の全国フェスティバルにも何度も出演の機会をいただきました。平成10年には、後継者育成のため「手取亢龍若鮎組」を結成し、幸運にも日本太鼓ジュニアコンクールに出場する機会に恵まれ、優勝や準優勝などを受賞することができました。

11月7日には、(財)日本太鼓連盟のご後援をいただき結成20周年記念式典と記念コンサートを盛大に開催できました。ゲストには長野県より「御諏訪太鼓保存会」にもご出演いただき、立ち見も出るほど盛況のうちに終わることができました。

全国には、多くの伝統ある団体がある中、埋もれないように少しでも輝いていけるよう精進を重ね、活動したいと思っています。

## 福島、長野で講習会を開催



(開会式で挨拶をする斎藤副支部長)

### <第39回日本太鼓全国講習会(福島)>

10月30・31日(土日)、福島県支部主管の全国講習会を、バルセいいざか(福島市飯坂町)にて実施いたしました。地元福島県をはじめ、全国21都府県から130名が受講しました。

開会式では、財団を代表して塩見理事長の挨拶の後、福島県支部を代表して斎藤副支部長、地元福島市教育委員会より渡邊文化課長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり、講習会がスタートしました。

講習会終了時には、受講生は各講座で受講した成果を余すことなく、一生懸命に披露していました。

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定	11名受験	5名認定(11名合格)
2級検定	21名受験	10名認定(21名合格)
3級検定	17名受験	17名合格
4級検定	24名受験	24名合格
5級検定	42名受験	42名合格



(4級基本講座の受講風景)

### <第49回日本太鼓支部講習会(長野)>

12月4・5日(土日)、長野県支部主催による支部講習会が安曇野市穂高会館で行われ、3・4・5級基本講座に地元長野県をはじめ、70名が参加しました。

開会式では長野県支部より古屋支部長、当財団より中西常務、宮澤敏文長野県議会議員からそれぞれ挨拶があり2日間の講習会が始まりました。寒さ厳しい冬の長野で、受講生は一生懸命講習会を受けていました。

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級9名、4級12名、5級41名受験 全員合格

#### 訃報

日本太鼓の普及、発展のためにご尽力いただきました増子善勝氏(福島県支部長、安達太良太鼓保存会会長・享年75歳)並びに及川勝氏(北海道東支部名誉会長、前支部長、太平洋太鼓保存会顧問・享年72歳)がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 事務局だより

### 第50回日本太鼓支部講習会(東京都港区)

期 日：2011年2月12・13日(土日) 主 催：(財)日本太鼓連盟東京都支部

会 場：日本財団ビル(東京都港区赤坂1-2-2)

基本講座：総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

3級基本講座 松枝 明美氏(1級公認指導員)

4級基本講座 渡辺徳太郎氏(1級公認指導員)

5級基本講座(初心者講座) 渡辺 洋一氏(1級公認指導員)

申込先：(財)日本太鼓連盟東京都支部 事務局長：湯澤 元一

〒144-0052東京都大田区蒲田5-46-8 Tel 03-3737-7446 Fax 03-3730-3428 携帯 090-1996-2582

### 第40回日本太鼓全国講習会(大分県由布市)

期 日：2011年2月26・27日(土日) 主 管：全九州太鼓連合、(財)日本太鼓連盟大分県支部

会 場：湯布院自然の家ゆふの丘プラザ(大分県由布市湯布院町川西1200-8)

専門講座：助六太鼓講座(複式単打法) 今泉 豊氏(東京都)

源流太鼓講座(複式複打法) 長谷川 義氏(大分県)

大太鼓講座(単式単打法) 渡辺 洋一氏(東京都)

基本講座：総合指導 古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)

3級基本講座 安江 信寿氏(1級公認指導員)

4級基本講座 若山 雷門氏(1級公認指導員)

5級基本講座(初心者講座) 田中 俊己氏(1級公認指導員)

申込先：(財)日本太鼓連盟事務局 〒107-0052東京都港区赤坂1-2-2 Tel 03-6229-5577 Fax 03-6229-5580

## ジュニアコンクール出場団体決定！ (35都道府県46チーム)

**名 称：**第13回日本太鼓ジュニアコンクール

(内閣総理大臣賞・総務大臣賞・文部科学大臣賞下付予定)

**期 日：**2011年3月20日(日) 開場10:00 開演10:30 閉会式終了予定19:00

**会 場：**センチュリーホール(愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-1) Tel.052-683-7711

**入 場 料：**一般入場券(1・2階席) 前売券 2,000円 当日券2,500円

特別県民券(3階席限定) 前売券 1,000円 当日券1,500円 \*愛知県民に限定

第13回大会は、各都道府県の支部予選で優勝したチーム等が一堂に会し、これまで以上の熱演が予想されます。出場者には、お互いを思いやり、礼節を重んじ、ジュニアらしく真摯で元気ある演奏を期待しております。

**出場団体：(35都道府県46チーム) (順不同)**

ねむろ太鼓保存会ジュニア(道東)、追分いぶき太鼓(道央)、躍進滝川太鼓保存会(道西)、岩手県立大船渡東高等学校太鼓部(岩手)、高倉薬太鼓(宮城)、やまぼと太鼓(秋田)、岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組(福島)、下館若囃太鼓会(茨城)、岩舟武蔵太鼓ジュニア(栃木)、上州榛東ふるさと太鼓(群馬)、乾武神流川太鼓鼓心(埼玉)、のさか太鼓(千葉)、邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア(東京)、打鼓音ジュニア(神奈川)、越中いさみ太鼓保存会(富山)、輪島和太鼓虎之介(石川)、手取亢龍若鮎組(石川)、ハツ杉太鼓遊心(福井)、山梨園芸・笛吹高等学校すいれき太鼓部(山梨)、信濃国松川響岳太鼓(長野)、上石津もんでこ太鼓少年部(岐阜)、天城連峰太鼓(静岡)、富岳太鼓風神組(静岡)、一宮太鼓保存会(愛知)、清須市清洲伝統芸能保存会(愛知)、尾張新次郎太鼓保存会(愛知)、津 高虎太鼓(三重)、大和の響き・京(京都)、金光藤蔭高等学校和太鼓部「鼓響」(大阪)、豊岡こうのとり太鼓(兵庫)、大竹一番太鼓ジュニア「童夢」(広島)、掛合太鼓ジュニア(島根)、鳳翔童太鼓「かわせみ」(徳島)、久山樺太鼓ジュニア(福岡)、しんにゅう和楽太鼓(福岡)、不知火太鼓(佐賀)、おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)、熊本市立必由館高等学校和太鼓部(熊本)、城南火の君太鼓(熊本)、人吉ねぶか太鼓(熊本)、ZENKAI少年太鼓「和」(大分)、太鼓研修センター「響」(宮崎)、轟太鼓道場(宮崎)、火の神乙女太鼓「爽」(鹿児島)、志布志ちりめん太鼓(鹿児島)、下関平家太鼓保存会勝山会(山口)

**特別出演：**橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎・第12回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム)

オザスコ轟太鼓(2010年度第7回全ブラジル太鼓選手権大会優勝チーム)

泰山太鼓団(2010年度第1回台湾太鼓選手権大会優勝チーム)

\*大会規定により、支部予選で21チームを超える参加があった場合は2チーム、31チームを超える場合は3チームが出場できることとなっております。これにより、石川・静岡・福岡・宮崎・鹿児島島の各支部から2チーム、熊本から3チームが参加します。また、大会開催地の愛知県支部からは3チームが参加します。

なお、今回不参加の支部は北海道道北・道南・青森・山形・新潟・奈良・岡山・鳥取・香川の9支部です。

\*推薦等で申込のあった団体は、運営・技術合同委員会において審議の上、正式決定されます。

### 2011年度の予定

日本太鼓チャリティコンサート

2011年5月27日(金)草月ホール(東京都港区)

第15回日本太鼓全国フェスティバル

2011年10月2日(日)上田市民会館(長野県上田市)

第13回日本太鼓全国障害者大会

2011年10月16日(日)三田市総合文化センター(兵庫県三田市)

第8回日本太鼓シニアコンクール

2011年11月20日(日)輪島市文化会館(石川県輪島市)

第14回日本太鼓ジュニアコンクール

2012年3月25日(日)群馬県民会館(群馬県前橋市)

日本太鼓全国講習会

2011年6月25日(土)・26日(日)東城陽中学校(京都府城陽市)

2011年9月3日(土)・4日(日)仙北ふれあいセンター(秋田県大仙市)(案)

2012年2月18日(土)・19日(日)レスポアール久山(福岡県久山町)

日本太鼓支部講習会：詳細が決定次第、随時お知らせいたします。